

2022年10月31日

高崎市教育委員会
教育長 飯野 眞幸 様

要 求 書

高崎市教職員組合
全群教・高崎支部
執行委員長 峯岸 昌弘

貴職の日頃の教育ならびに教育条件整備等における熱意ある尽力に対し敬意を表します。また、教職員の人事異動をはじめ、各学校の施設・設備の改善、業務の精選等において全群教・高崎市教職員組合の要求事項に対する改善が図られつつあることに対し深く感謝申し上げます。

さて、今年度におきましても、子どもの人権、教職員の労働条件、施設設備の問題、あるいは諸制度の件につきまして、多くの教職員や父母より寄せられた生の声をもとに要求書を作成いたしました。

つきましては、関係各方面へのはたらきかけを含めてご検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、この要求事項について学校現場の教職員の声が反映されるよう配慮し改善がはかられた場合、あるいは回答事項において変更する場合には当組合までご連絡をお願い申し上げます。

学校教育課提出分

記

1 「ゆきとどいた教育」の実現に関して

- ①私たち全群教が結成以来要求し続けてきた30人以下学級は今、全国の道府県で実現されている。群馬県でも小学1，2年生に具体化され、他の学年にも波及している。さらに県内すべての小中学校で、教職員の増員による30人学級が実現されるよう群馬県教育委員会に対して内申されるよう要請する。
- ②公立小中学校の全学年を30人学級にするための体制整備に文科省が動き出しているが、感染予防の観点からも喫緊の課題であるので、実現するまでの間は市独自の予算ですぐにでも30人学級を進めるよう要望する。

2 労働条件等の改善や過密超過勤務の解消について

①教職員の過密超過勤務の常態化の改善に関して

- ア 現場の実態にそぐわない「1年単位の変形労働時間制」は、全国的にも反対の取り組みが広がっているが、高崎市教委にも同様の対応を求める。
- イ コロナ禍の中で、現場の職員が日々の生活指導や学習指導に悪戦苦闘しているにも関わらず、計画訪問や要請訪問がほぼ例年のように行われ、その度に職員は疲弊した。今後は、状況に応じたより柔軟な対応がされることを要望する。
- ウ コロナ感染などで病休職員が出た場合、市教委から代替職員を派遣すること。
- エ コロナ感染予防のための検温や消毒などをするスタッフを各校に配置すること。
- オ 多忙化の解消のために教職員を増やすよう、県に対して要求するとともに、市独自でも増やす方策を検討すること。
- カ 休憩時間を確保する方策、また、確保できなかった場合の具体的な措置を市教委として示すこと。
- キ オンラインサポーターや教育DX推進スタッフなどが全校配置になるよう、市で補助すること。
- ク 道徳や総合的な学習の時間の「評価」が担任の負担とならない方策をとるよう管理職を指導すること。
- ケ 「健康教育推進校表彰事業」やエイズ関連事業など、すでにその役割を終えたと思える事業が旧態依然として繰り返され現場の負担となっている。簡素化や廃止など見直しを求める。
- コ 中学2年生で実施している英語の4技能試験(GTEC)は、教員や生徒の大きな負担になっている割に得るものが少ない。全面中止か抽出校での実施に変えること。
- サ 就学時健康診断は、本来行政がおこなうべきものであるのにも関わらず学校に丸投げされている。スタッフの派遣など市教委の協力を求めたい。
- シ 小学校における「交通安全教室」は、多数の保護者に協力をお願いすることが、現場や保護者の負担になっていた。しかし、ここ数年、保護者の参加無しの実施でも十分な活動ができた。今後も同様の形式での実施を強く要求する。
- ス 主任会の活動は「連絡と調整」と認識しているが、それを大きく逸脱した活動をしている主任会もあると聞く。直ちに調査し是正されたい。
- セ 健康診断表を手書きでは無くC4thで作成できるようにすること。

ソ 個人調査票の書式を毎年のように変えることをやめ、新たに書き直す必要が無いようにされたい。

タ 中高一貫校や私立中学が増え、受験に際して調査書を作成したり説明会に参加したり、担任の負担がとて大きくなり看過できない状況である。早急に改善されたい。

②お盆の期間は「日直を置かない週」ではなくて閉庁とすることで、管理職を含めて職員の休暇を取りやすくすること。

③人事評価制度について

ア 行き過ぎた運用によって教育現場に支障を招くことの無いよう各校管理職を指導されたい。

イ 業務改善を自己責任とするような指導（自己申告書に「業務改善」の視点を入れる）をやめること。

ウ 苦情処理・異議申し立て先は、市教委教職員課ではなく第三者機関に設置することを求める。

④人事異動について

ア 教職員各自の希望を尊重した人事を推進されたい。

イ 隣接校にも転補希望ができるように改善されたい。

3 諸行事の改善に関して

①榛名湖荘林間学校は、今年度のような日帰りでも有意義な体験ができることが分かったので、今後も同様な実施を検討されたい。ましてや、2泊を強制することが無いように強く求める。

②新体力テストについて

抽出化や隔年化などにより実施を縮小すること、少なくとも低学年の実施をやめるよう、県教委に対して働きかけを求める。

③小学校陸上大会について

大会当日、各学校から管理職、体育主任、引率教員と最低3名の職員が学校不在となることが、現場に大変な負担をかけている。運営の仕方や実施の規模などを見直すなどの改善をされたい。

④やるベンチャーウィークについて

コロナ感染症が終息していない中、生徒や事業所職員の健康と安全を確保するために実施しないことが望ましいと考える。実施については各学校の任意であることを改めて確認されたい。

4 民主教育の確立と学習権の保障に関して

- ①国旗・国歌に対してどういう態度をとるかは日本国憲法に保障された児童・生徒・教職員・父母の「思想・信条の自由」「内心の自由」に関わることであり、いかなる法律でも規制することはできない。入学式・卒業式等学校行事でいかなる強制もされないことを確認されたい。あわせて、式実施後の報告を求めないこと。

5 その他

- ①水泳指導や修学旅行の可否判断、オンライン授業など、教育行政が現場の声を十分に聞くこと無くトップダウンで行われ、しかも決定が遅くて現場はたいへん混乱した。現場の声を十分に聞いた上での迅速な教育行政の実施を強く要求する。
- ②授業をリアルタイムで配信するオンライン授業は、通常授業との同時両立がたいへん困難であり、またプライバシー侵害の問題もあるので、今後は実施を強いることがないように強く求める。
- ③「GIGAスクール構想」に関して
 - ア 授業での使い方や家庭への持ち帰りなど、各学校の判断に任せること。
 - イ 使用するアプリは学校で選択できるようにすること。
 - ウ タブレットの恒常的な使用が子どもに与える影響についての研究・検証を十分に行うこと。
- ④学校預かり金について
 - ア 金融機関において出入金の際に生じる手数料を自費で負担させている学校があると聞かすが、早急に調査及び改善をされたい。
 - イ 教員が教材や宿泊行事等の支払いのために現金を扱っている状況は、業務削減の意味でも、会計の安全性の面でも問題が大きい。早急に調査・改善されたい。

教育総務課分

記

- ①子どもたちの健康を願い、地元の食材を生かす工夫を追求し、全国的にも先進的な給食事業を進めている高崎市の学校給食を高く評価している。しかしながら、次の点について改善を求めたい。
 - ア 給食費の無料化を推進されたい。
 - イ 質の面でもアレルギー対応の点でも、自校方式とセンター方式では格差が大きい。全ての学校が自校方式となるよう改善されたい。

ウ アレルギー対応が必要な児童生徒が年々増加しているにも関わらず、給食調理員の定員は以前のまになっている。市の予算で必要な増員を図られたい。

②教職員用のパソコンが古くて動作も遅く、業務に支障が出ている。すぐに新しいものに更新されたい。

③理科室、音楽室、美術室、家庭科室、算数指導室、調理室、被服室、多目的室など全ての教室、及び体育館や教育相談室、また給食室にもエアコンを設置することを求める。